ふれあいぽけっと

2015
2/27
No.107

題字　牟礼東小学校１年　なかむらわかな

HUREAI　POKETTO

街中サロンお琴と尺八の演奏会

１月２３日に飯綱福祉センターを会場に街中サロン「楽らく」が開催されました。ボランティアグループ「すいすい会」の皆様が世界に一つだけの花をはじめ、８曲ほど演奏し、曲が終わると客席から大きな拍手が沸き起こりました。

また、茶会も開催され、参加者は作法を教わりながら、ボランティアが点てた抹茶と和菓子を頂戴し、舌鼓を打ちました。新年ならではの雰囲気を２１名の参加者が満喫しました。

※集いの場所街中サロン「楽らく」は毎月第２第４金曜日に開催しています。次回は、会場の都合により３月27日(金)を予定しています。

●●●主な記事●●●

P2　ボランティアコーナー
宅老所よってけ家の紹介
P3　さみずの郷から、こんにちは
がぁたく塾終了式
P5　架け橋上映会
被災地と心をつなぐ講演とコンサートの夕べ
P6　社協予定表
いいづなの福祉事業所紹介
P7　自然育児のススメ
軽トラックの寄付
P8　まちがいさがしクイズ
新 ささらばさら(❹コママンガ)
りんごのつぶやき

この広報紙は、地域福祉を推進するために社協の事業内容など飯綱町の地域福祉に関する新鮮な情報を掲載し、共同募金の配分金を財源として発行されています。

ボランティア 市民活動コーナー

市民活動とは…社会的な課題の解決に向けて、組織的・継続的に取り組む活動のこと。町村民の活動も市民活動と呼ばれています。

ボランティアセンター紹介

今回は、ボランティアセンターに関する疑問質問にお答えします。

Q①，ボランティアセンターはどこにあるのですか？

A①，元気の館（牟礼1989）の施設内にあります。

▼ボランティアセンター　外観

▼ボランティアセンター　室内

Q②，ボランティアセンターは、何をするところですか？

A②，主にボランティアをしてほしい人としたい人をつなげるほか、知識・技術を習得する講座の企画やボランティアの輪を広げる活動を行っています。その他に「〇〇がしたい」「〇〇に困っている」など暮らしにかかわる各種相談もお受けしています。

（次号に続く）

宅老所よってけ家の紹介

自宅のように「ほっと、ひと息をつくことができる」宅老所※1よってけ家について、ご紹介します。

よってけ家は、西黒川コミュニティセンターの隣にある小規模の福祉事業所です。10名定員なのでご利用者様や職員が顔馴染みになり、1日を安心して過ごすことができると評判を頂いております。ご利用者様がお休みされた時、別の方が気にかけるなどご利用者様間の交流は楽しく活発です。

よってけ家について、詳しく知りたい等ございましたら、左記までお問合せください。

▲よってけ家　外観

お問合せ
宅老所よってけ家
電話：253-4020

スケジュール(例)

8:45	・お迎え
9:00	・入浴 ・談話 ・レクリエーション※2
11:30	・体操 ・口腔体操
12:00	・昼食 ・休養
15:00	・お茶 ・レクリエーション※2
16:30	・お送り

※1 民家などを活用し、家庭的な雰囲気のなかで、一人ひとりの生活リズムに合わせた柔軟なケアを行っている小規模な事業所
※2 ゲームや創作活動等

『さみずの郷から、こんにちは!!』

向山の上の方、小さなデイサービスセンター『さみずの郷』では、節分に豆まきをしました。ご利用者様が新聞紙で作った特製豆を鬼めがけて投げ、鬼を払い、福を呼び込んでいただきました。

◀お手製福豆

※さみずの郷の体験会を、毎月1，2，3日に開催します。一緒に楽しい体験をしてみませんか？大きなお風呂に入ったり、趣味の時間を過ごしたり、美味しいお昼ご飯もお召しあがりいただけます。

『いちっ・にっ・さんは、さみずの郷へ♪』

どうぞ、お気軽にお立ち寄り下さい。また、体験会の詳細について、送迎のご希望等ございましたら、左記にご連絡ください。

お問合せ
さみずの郷
電話：253-8882
（担当：小林）

◀鬼が出たぞー

23期がぁたく塾終了式

2月8日、飯綱リゾートスキー場を会場に『第8回飯綱町けつぞり大会』が開催され、がぁたく塾から7チーム計21名が出場しました。

チーム一丸となり、「頭と脚をあげて背中で滑ると速く滑れる」「スタートラインの1～2メートル先まで助走をするんだよ」等塾生同士コツを教えていました。

また、午後は会場を移動し、雪合戦や宝探しをしました。はじめに塾生対スタッフの試合を行ない、軽快な足取りで敵陣に攻めてくる塾生と比べて、スタッフは一歩一歩が重い。10代～50代の機動力で劣るスタッフチームでありましたが、経験を活かし熱戦を繰り広げました。

来年度のがぁたく塾も楽しい活動を企画中です。塾生・スタッフの皆様のご参加お持ちしております。

26年度に実施した活動

- 鳥の巣箱づくり、キノコの駒打ち
- 狼煙を上げよう、豆腐づくり
- 鮭のつかみ取り、地引網
- クリスマスリース作り、餅つき
- けつぞり

老人クラブ連合会
シニア向け講演会を開催しました

1月25日(日)、元気の館を会場に生きがいづくりを目的としたシニア向け講演会が開催され、約100名の方が参加しました。

第一部では、講師に児童福祉施設愛育園園長 藤本光世氏より『福祉の心は生きがいづくり』と題して、講演していただきました。「二度とない人生を美しく生きるために、自分のことだけを考えるのではなく、後世のためになるように生きてほしい。」と、今とこれからの人生についてお話しいただきました。

第二部では、長野中央警察署防犯指導係長 田山文子氏より『特殊詐欺被害防止について』講演して頂きました。「勧誘などの怪しい電話や来訪があったとき、断る理由を準備しておき、電話等の近くに貼っておくのが有効です。」など、対処方法をお話しいただきました。

参加者から、「寒い時期であまり外に出たくないけれど、ためになる話がきけて良かった」「特殊詐欺にあわないように、今日聞いたことをすぐに実践したい」という感想も聞かれ、大盛況のうちに閉会しました。

平成27年度 ボランティア活動保険の加入・更新 受付開始

ボランティア活動中のさまざまな事故によるケガや損害賠償責任を補償します。

補償期間
平成27年4月1日～平成28年3月31日
(中途加入も可能。)

加入手続き
ボランティアセンターにある所定の「申込書」に必要事項を記入の上、掛金とあわせて、ボランティアセンターにご提出ください。

加入プラン
Aプラン
「基本タイプ」300円
「天災タイプ」430円
Bプラン
「基本タイプ」450円
「天災タイプ」650円

備　考
社協(ボランティアセンター)に登録された町内在住又は町内でボランティア活動をする個人、団体には一人当たり100円の助成をいたします。

オレンジカフェの開催

認知症の方とその家族、地域の方、介護専門職の方など、様々な方が自由に参加でき、交流や情報交換、居場所づくり等を目的とする『オレンジカフェ』を開催いたします。

日　時　3月16日(月)
午前10時～11時30分

場　所　元気の館 つどいの部屋

参加費　100円(飲物代等)

備　考　事前申込み等必要ありません。
お車でお越しの方は町民会館第1駐車場をご利用ください。

主　催　飯綱町あんしん暮らしのパートナー

共　催　飯綱町地域包括支援センター
飯綱町社会福祉協議会

お問合せ　ボランティアセンター
(電話253-1001・050-3595-1002)

ボランティア連絡会
神城断層地震義援金

飯綱町ボランティア連絡会では、平成26年11月22日に発生した長野県神城断層地震により被害を受けた方々の支援のため、義援金を募集し、1月21日に、長野県共同募金会を通じて被災地へ寄付させていただきました。

義援金額
51，500円

義援金の配分
長野県共同募金会で取りまとめた義援金は、長野県神城断層地震災害対策本部に拠出し、長野県が設置する義援金配分委員会で決定し被災者に配分します。

いいづなやまびこ手話の会が映画上映・講演会を開催

手話の普及を通して、聴覚障害者についての理解促進及び啓発を目指す「いいづなやまびこ手話の会（小田切菊代会長・会員5名）」は、1月31日、飯綱中学校講堂を会場にドキュメンタリー映画「架け橋きこえなかった3・11」の上映と同作品監督の今村彩子氏を招いての講演会を開催しました。

当日は、町内外から約100名が来場し、初めに小田切会長があいさつとして、映画ならびに講演により一人でも多くの方が手話に関心を持ち、また一人ひとりの命の重み、大切さを感じてほしいなどと説明しました。

きこえる人ときこえない人の交流がもっとあれば

映画上映後の今村監督による講演では、命を守るのに必要な情報が聴覚障害者に十分に伝わらなかったことを防ぐために、字幕や手話映像の挿入などメディアの発信方法の工夫や、避難所での情報ボードの活用だけでは不十分であることが説明されました。

聴覚に障害を持っていることは外見では判断することが難しく、また情報格差を生む要因も様々で、日本語を十分に理解することができない外国人や視覚に障害がある方などもいます。

それぞれに個別に対応できるよう、様々な手段で情報格差を埋めようとしていくよりも、人と人との日常の交流を積み重ね、互いを知りあうことが、一人でも多くの人の命を救う手段になるのではないかと感じるようになったそうです。

3・11おべてず ～被災地と心をつなぐ講演とコンサートのタベ～

東日本大震災の被災の実態を知り、私たちのこれからを考える参考に。そして被災地の人々へ、飯綱町民の思いを届ける。

日時　3月12日(木)午後6時45分～午後9時

会場　町民会館　ホール

内容　オープニングセレモニー

出演：飯綱コーラス

第一部(現地からの報告)

『町立南三陸病院総合ケアセンター建設の進捗状況と今想うこと』

講師：宮城県 南三陸町

復興応援大使　外立　とし江氏

『被ばくした牛300頭を飼い続ける意味』

講師：福島県 浪江町

希望の牧場ふくしま　吉沢　正巳氏

第二部

『ほのぼのコンサート』

出演：久遠峯志とおもとはるバンド

参加費　1，000円(18歳以下無料)

※経費以外は全て被災地への義援金とします

問合せ　心をつなぐ会 関正和(090-4461-4779)

主催　心をつなぐ会(3・11おべてず／長谷寺／いいづなミツバチの会／わくわくどきどきネットワーク他)

後援　飯綱町／飯綱町教育委員会／飯綱町観光協会／飯綱町商工会／飯綱町社会福祉協議会

飯綱町社会福祉協議会　予定【平成 27 年３月】

月	日	曜日	内容	月	日	曜日	内容
３	1	日	地域福祉フォーラム	３	27	金	街中サロン「楽らく」
	11	水	いきいきサロン全員集合				
	21	土	ボランティア連絡会総会				

NPO法人さみず さんばだより

立春が過ぎ、太陽さんのおかげで、南側の屋根の雪はぼつぼつ落ち始めましたが、厚い氷に覆われた日陰の部分は軒に下がった長いつららがキラキラ輝き、アナと雪の女王の世界です（流行！）。屋根の雪が溶け落ちてしまうまでは、歩くのが嫌いで一番玄関に近い場所に車を止めていた職員（誰？）も、やむを得ず安全地帯を求めてさんばの庭の駐車スペースを行ったり来たりしています。（一番に出勤すれば…早い者勝ち！）

さんばの室内もこの時期の朝は、きっと雑巾も凍るほど、もしかしたらアイスキャンデーもできるほどのマイナス室温になっているに違いありませんが、ご利用者様に寒い思いはさせられませんので（「さんばは、さびいんだでー」なんて話が広まればね…）、温風ヒーターのタイマーをセットしてその温風を例の筒（名前は忘れました）でこたつに引き込み、職員が出勤してくるころは職員更衣室（どこ？）以外はほっかほっかになっています。ご利用者様がお見えになるころ、このこたつの筒は抜かれ、電気こたつに変身、ご利用者様がつまずかないように、職員に踏みつぶされないように片つけられます。（そうしていても、この筒の寿命はとても短いのです。）「こたつ」はかわいく「おこた」と呼ばれ、ご利用者様方にとっては昔からのなくてはならない暖房器具であり、綿入れ袢纏を着て背中を丸めてあたっている「おこた」の上にはみかんがおかれ、布団の上に丸くなった猫が寝ているというこの風景（？）は、懐かしい冬の風物詩です。さんばでは猫とみかんは、なしですが皆さんにこの大好きな「おこた」にあたっていただけるように椅子式も用意し、「オールおこた」で上掛け、下掛けの洗濯、こたつの中の掃除に頑張っています。

「おこた」のさんばにお出かけください

あおぞらスケッチ

社会福祉法人 林檎の里 あおぞら

床屋さん、まだまだ？

あおぞらのグループホームで、とても散髪が好きな方とのある日のやり取り…。

職　員「Mさん、そろそろ床屋さんに行きましょうか？」

Mさん（嬉しそうな顔で）「床屋さん行く？」

職　員「来週の木曜日に行きましょう」

Mさん「違う床屋さん行く」

職　員「えっ？この前あんなに喜んでたのに、また違う床屋さん行くの？」

Mさん「違う床屋さん行く」

※実は、カットだけの床屋さんから、髭剃り、洗髪も行なう床屋さんに替えたばかりでした。気に入ってもらえていると思っていましたが…。

職　員「また、床屋さん替えるの？」

Mさん「違う床屋さん行く！」

※この時、職員は前回自分が言ったことを思い出しました。

職　員「Mさん、今回は『違う床屋さん』に行きましょう」

そうです。Mさんは髪を切りに行く場所を「違う床屋さん」という一つの単語で覚えていたのです。

職　員「また、『違う床屋さん』に行きましょう！」

Mさん（満面の笑みで）「違う床屋さん行く！」

《自然育児》のススメ ～テレビ、その三～

テレビについて更に続き。

子どもが赤ん坊の頃から「見ない習慣」になっていれば、特に問題はありません。けれど実際の毎日は、テレビが「あって当たり前」の暮らしが多いと思います。

ですので「ヨシ止めよう」と決めたら、思い切った工夫が必要になると思います。例えば一歳半～四歳頃であれば、既に出来上がっている子どもの習慣を変えることになり、しつけが難しいのと同じように、少し大変になるかも知れません。

「壊れた」ことにして電源コンセントを抜いてみた、画面の前に大きな布を掛けて視界から隠してみた、置く場所や部屋を遠ざけてみた、という話しを聞きました。見ることを「少し面倒なこと」にすると、上手くいくそうです。

他におススメは、時間や内容を決めて見ること。番組を限定したり、曜日を決めてみたら良いと思います。「主体的に見る」方法にすれば、かえって「見ない時間」を意識することができると思います。

そしてそれが習慣になれば、その空いた時間で好きことに熱中したり、新しい遊びを考えだしたり、自分の時間を自由に使う面白さを感じ取ってくれる・・・そんな風に思います。

子どもが大きくなったこの頃の我が家、実はテレビは解禁されています。スポーツ中継や歌番組やドラマなど、子ども自身が見たい番組を選んで録画し(時間は記憶媒体の残量で制限され)、自分で見る時間を確保しています。もちろん宿題やお手伝いなど優先順位を大事にしてもらってから、になりますが。

静寂の季節も、名残惜しくなってきました。ゆったり過ごす時間もあと少しです。今日あたり、テレビを消してみませんか？

by唯〇母

皆さんのアルミ缶が軽トラに ～空き缶ボランティアが飯綱町社協に～

空き缶ボランティアは町内３カ所の収集所に集まったアルミ缶を①エネルギー節約、②ゴミ減量の観点から有効にリサイクルするため、毎年４月～11月の間に月２回程度プレス作業を行っている団体です。今年で25年目となるこの取組みには現在、北部高等学校生徒会、商工会婦人部及び飯綱町三水消費者の会の皆さんにも協力いただいており、収益は地域福祉に役立てられています。

今回、この収益で社協に軽トラックを寄付していただきました。この車両は地域福祉活動に広く活用させていただきます。ありがとうございました。

※空き缶ボランティアでは一緒にアルミ缶プレス活動に協力いただける町民の方を随時募集しています。

▼連絡先：飯綱町社会福祉協議会　事務局（電話253-8456）

第105回　まちがいさがしクイズ解答

答え
「馬の顔の向き」
「右下の旅人の脚」
「右下の旅人の荷物」

佐野美和子様 / 柳沢田鶴子様 / 滝野かつえ様/
渋澤　福司様 / 馬島八重子様
上記の皆様が当選されました。おめでとうございます。
※景品の配布は当選から２ヶ月ほどかかります。

Q まちがいさがしクイズ

―第106回―　今月も「まちがいさがしクイズ」に挑戦
正解者の中から５名様に素敵な景品をプレゼント！

※第105回まちがいさがしクイズの答えと当選者の発表は前ページに掲載してあります。

ハガキ表

52　389-1201

飯綱町芋川181
飯綱町社会福祉協議会
「まちがいさがしクイズ」

ハガキ裏

- こたえ
- じゅうしょ
- なまえ
- でんわばんごう
- 今月号の感想など

左右の絵を見比べて３つの間違いの答えがわかった方は、左記の要領で記入の上、ご応募ください。社協ホームページクイズ応募フォーム又は社協来所による応募も受け付けております。（町内在住の方に限る）締切りは、3月13日です。【消印有効】

寄付

牟礼農林産物直売所組合
ピーチロードおーちゃん様
28，391円

匿名
50，000円

仲俣　孝志　様
お米100kg

地域福祉の推進に活用させていただきます。ありがとうございます。

りんごのつぶやき

今となっては随分昔の話だが、バブル経済の崩壊直後、「規制緩和」や「リストラ」の名の下に従業員の解雇が国内で流行った（ちまたでは解雇を正当化するような開き直った雰囲気だった）。「終身雇用に甘えるな」「企業の生き残りには必要なことだ」などと新聞も書き立て、多くの経営者や従業員がつらい思いをした、と記憶している。

21世紀に入り「改革」が流行り出すと今度は「抵抗勢力」という言葉を聞くようになった。理不尽な改革に反対した途端に「抵抗勢力」と烙印を押され、人生を狂わされた人が県内にもいた（私がお世話になった方も含め）。ちなみにこの時期の改革では、リストラに対する企業経営者・従業員の不満を別の人に向かわせず、彼らの部下である大勢の公務員が身代わりになったことを指摘したい。

「不良債権処理」が流行った時も、その名の下で失業や倒産に苦しむ人の存在はどれだけ理解されていただろうか。

そして今また「岩盤規制の打破」と称し、協同組合や社会福祉法人がやり玉に挙がっている。長年牟礼や三水のような田舎を守ってきたのはこういう組織の下で組合員や会員が助け合ってきたからだと思っていたが、それが何故「破壊すべき岩盤規制」なのかよく判らない。

いつの時代も改革には痛みが伴う。だが今まで聞いたことの無い言葉で改革が宣伝されると、我々は痛みに苦しむ相手に思いを馳せぬまま改革を支持するようになり、気付いたら自分もその痛みに苦しむ、そんな繰り返しはしないように、苦しむ相手がいることは忘れないようにしたい。

《発行》ふれあいぽけっと編集委員会(事務局：飯綱町社会福祉協議会)　〒389-1201 長野県上水内郡飯綱町大字芋川181
☎026-253-8456　FAX026-253-2907　Eメール iishakyo@ii-shakyo.or.jp　HP http://ii-shakyo.or.jp